

斑点米カメムシ類情報第1号

令和元年7月2日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

斑点米カメムシ類は、イネ科雑草の子実を餌に増殖するので、除草を徹底し、出穂前後から穂揃期には薬剤防除を実施しましょう。

1 発生状況

6月下旬に県内105ほ場で行った水田周辺の畦畔雑草における20回すくい取り調査では、斑点米カメムシ類の捕獲数は13.1頭（平年10.5頭、前年9.3頭）でやや多い発生量となっています。

予察灯における誘殺数は、大口町、弥富市、長久手市、西尾市では平年並、東浦町、豊川市は少ない状況です（図）。

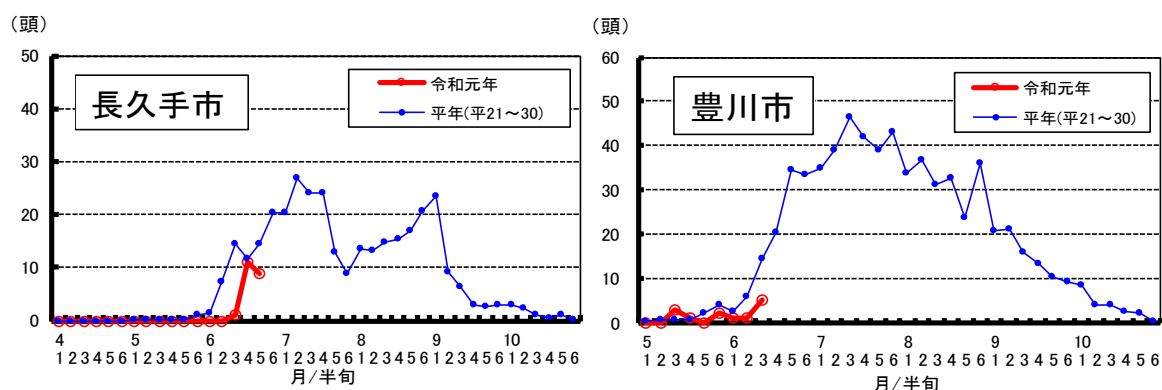


図 予察灯における斑点米カメムシ類の誘殺数

2 防除対策

斑点米カメムシ類は、主に水田畦畔などに生えるイネ科雑草の子実を餌に増殖するので、出穂2～3週間前までに除草を徹底しましょう。また、水田内で穂をつけたヒエ類なども発生を助長するので除去しましょう。

畦畔や水田内をよく観察し、カメムシ類の発生が多い時は出穂前後から穂揃期に表を参考にして薬剤防除を実施し、その後も発生が多い場合は7日から10日後に再度防除しましょう。

使用する薬剤により防除時期が異なるので注意しましょう。

表 斑点米カメムシ類に対する主な防除薬剤

薬剤名	使用時期	本田での使用回数	IRACコード
スミチオン乳剤	収穫21日前まで	2回以内	1 (B)
トレボンEW	収穫14日前まで	3回以内	3 (A)
クラブフロアブル	収穫14日前まで	} 2回以内	2 (B)
クラブ粒剤	収穫14日前まで		2 (B)
スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	収穫7日前まで	} 3回以内	4A
スタークル液剤10	収穫7日前まで		4A
スタークル/アルバリン粒剤	収穫7日前まで		4A
スタークル豆つぶ	収穫7日前まで		4A

成分ごとの総使用回数に注意しましょう。

IRACコードは殺虫剤の作用機構による分類を示す。

IRACコードの詳細はhttp://www.jcpa.or.jp/lab0/pdf/2018/mechanism_irac03.pdfを参照する。

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。